



「富士山百景」雪の華

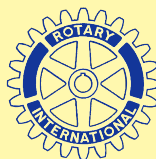
VOL. 2529

Rotary International

和のこころで...

第2529回例会 2016.2.24

ソング「日も風も星も」



富士ロータリークラブ **WEEKLY**

<http://www2.wbs.ne.jp/~fujirc/>

例会日:毎週水曜日 12:30
 例会場:ホテルグランド富士
 TEL(0545)61-0360
 事務所:〒416-0913 富士市平塚本町8-1
 ホテルグランド富士内
 会長:太田 義隆
 副会長:小出 隆久
 幹事:植田 眞晴
 副幹事:岸本 泰次

会長挨拶

太田 義隆

2月21日の日曜日は、第2620地区静岡第3分区
 芹澤貞治ガバナー補佐主催のインターシティーミーティ
 ング(IM)が沼津で開催され、富士RCより14名で
 参加してきました。

記念講演では、北朝鮮拉致被害者の蓮池 薫さんが「夢
 と絆」というテーマで講演されました。内容は、現在の
 日朝関係、拉致の目的、これからの拉致問題への取り組
 みなどが主でした。その中で私が特に印象に残った事柄
 は、蓮池さんと当時は恋人であった現在の奥様が柏崎海
 岸で北朝鮮工作員に袋詰めになされて北朝鮮へ拉致された
 時の状況や招待所(工作員教育所)での生活、北朝鮮の
 事情によって現在の奥様との結婚された理由など報道で
 は明らかにされていない情報を聞いたことです。冒頭で
 蓮池さんは、「拉致されて命以外に人生の全てを奪われ
 た」と言っていました。蓮池さんは現在58歳で20代
 から40代の人生で一番楽しいそして大切な時代を北朝
 鮮政府からの頭ごなしのような生活を強いられてそのよ
 うな事を思ったのでしょう。

拉致は人道的に決して許されることではありません。
 最近の北朝鮮は武力で西側諸国に対抗しようとしていま
 すが、拉致問題はそれらと別に粘り強く交渉していかな
 ければならないと思います。拉致被害者の家族の絆、ま
 た日本国民の絆を結集して拉致問題が早く解決されるよ
 う願っています。

幹事報告

植田 眞晴

①例会変更のお知らせ

新富士RC 3月12日 蕎麦打ち会

3月15・22日 休会

富士山吉原RC 2月18日(木)→2月21日(日)の静岡第3

分区IMに振替

MUは11:30~12:30 ホワイトパレスフロントにて
 沼津RC 2月19日(金)→2月21日 IM

MU受付 11:30~12:30 沼津リバーサイドホテル
 富士宮RC 2月19日(金)→2月21日 IM
 富士宮西RC 2月19日(金)→2月21日 IM

3月18日(金)→3月16日きぎょう

②ガバナー事務所よりお知らせ

- ・2月のロータリーレートは、1ドル=120円
- ・ガバナー補佐より IMお礼

③会報回覧

富士宮西クラブ 富士宮クラブ 沼津西クラブ

親睦委員会

佐藤 昌久

夫人誕生日 岸本 和子 2.26

☆私のスマイル

太田義隆君 日曜日の沼津でのIM参加者の皆様御苦勞
 様でした。蓮池さんの講演会は、有意義で
 したね！親睦会後の富士での反省会も盛り
 上がりましたね！

宮下正雄君 先日のIMで蓮池薫氏の講話を聞きました。
 拉致被害者の生の話で夢の無い生活の寂し
 さと国際問題の難しさを感じました。著書
 も読みましたが、大変な国ですね。

山下いづみ君 先日は、美しい誕生日の絵をありがたう
 ございました。絵のほほえみに毎日元気を
 もらっています。

中島康治君 何となく。

滝 克芳君 本日は、初の5クラブ合同活動報告会です。
 親睦を深め楽しくやりましょう。(2/17分)

例会プログラム予告

3月9日 特別休会

3月16日 夜間例会「おでんの会」(夫人同伴) 於:宮下記念館

出席報告

佐藤 昌久

2529回

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
30名	30名	6名	24名	80%

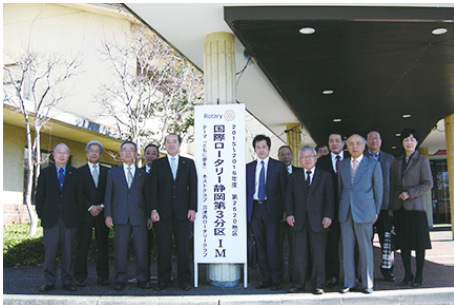
2527回 2/10確定

会員数	計算会員数	欠席者数	出席者数	出席率
29名	29名	6名	23名	79%

『未熟児用紙おむつの寄贈』に対し、 富士市立中央病院より感謝状の贈呈



国際ロータリー第2620地区 静岡第3分区 IM開催



卓話

盲導犬協会 盛本幸伸様
PR活動犬 オープス号



『盲導犬協会と盲導犬について』

【日本盲導犬協会の使命】

目の見えない人、目の見えにくい人が、
行きたい時に、行きたい場所へ行くことができるように、
私たちは、安全で快適な盲導犬との歩行を提供します。
公益財団法人日本盲導犬協会は、盲導犬の育成と視覚障
がいリハビリテーション事業を通して視覚障がい者の社
会参加を促進し、視覚障がい者福祉の増進に寄与するこ
とを目的に次のような事業を行っています。

《盲導犬の育成》

・繁殖 盲導犬の資質は、遺伝によるところが大きく、
優秀な繁殖犬の確保は盲導犬育成の課題の1つです。繁
殖犬の血統を確保する為人工受精にも取り組んでいきます。

・出産・飼育 母犬や子犬たちのために衛生的な環境と
飼育体制を整えています。子犬はパピーウォーカーの協
力を得て育成しています。

・盲導犬訓練 盲導犬候補犬の訓練を行います。施設内
や市街地で約半年～1年間の訓練を進めていきます。

・共同訓練 目の不自由な人は、盲導犬と歩くために共
同訓練を泊まり込みで行います。犬の世話や指示の出し
方など、盲導犬と安全に歩き、一緒に生活するために盲
導犬歩行指導員が指導します。

・引退犬の生活 盲導犬の引退犬は、引退犬飼育ボラン
ティアの家庭でのんびり過ごします。盲導犬の一生に責
任をもって飼育するために、ボランティアにとって負担
が重い場合に備え、引退犬がゆったりと余生を過ごす場
所を整えています。

《盲導犬訓練士の養成》

日本初の盲導犬訓練士学校で、盲導犬訓練士を目指そう
とする人が必要な知識を体系的に修得し、理論に基づい
た訓練技能と訓練士としてふさわしい人格の育成に取り
組み、盲導犬訓練士の養成を行っています。

《盲導犬育成に関する調査及び研究》

大学などの研究機関や専門家と協力し、遺伝性疾患や繁
殖研究などで、盲導犬に適した健康な犬の研究や盲導犬
ユーザー・ボランティアの心のケアに関する研究などを
進めています。盲導犬に関する研究の情報を集約し、研
究結果を広く公開していきます。

《各種リハビリテーション訓練》

目の不自由な方の社会参加と自立を推進するために、盲
導犬の育成・歩行指導に加え、在宅及び宿泊の視覚障が
いリハビリテーション事業を行っています。短期リハビリ
テーション事業では、音声の出るパソコンを使ってイン
ターネットを使用する訓練、白杖歩行訓練、点字指導
、家事全般の日常生活の動作訓練など、目の不自由な方
のニーズに合わせプログラムを組み、訓練を進めていま
す。また、目の不自由な児童がさまざまな「わんぱく」
経験を通して、自分の可能性を発見するため「ワン！ぱ
くっ子サマースクール」を行っています。

《国内外の諸団体との連携・協力》

日本盲導犬協会ユーザーの会、全日本盲導犬使用者の会、
全国盲導犬施設連合会、視覚障害リハビリテーション協
会、日本動物病院福祉協会の活動に講師派遣、研究発表
運営協力などを通して目の不自由な方の活動や動物愛護
活動を応援しています。

《盲導犬の普及啓発》

盲導犬や視覚障がいについて、理解を深めていただくた
めの盲導犬デモンストレーションや盲導犬の受け入れに
関する企業セミナーなどを通して、盲導犬の普及啓発を
促進します。

編集者 野坂富士雄